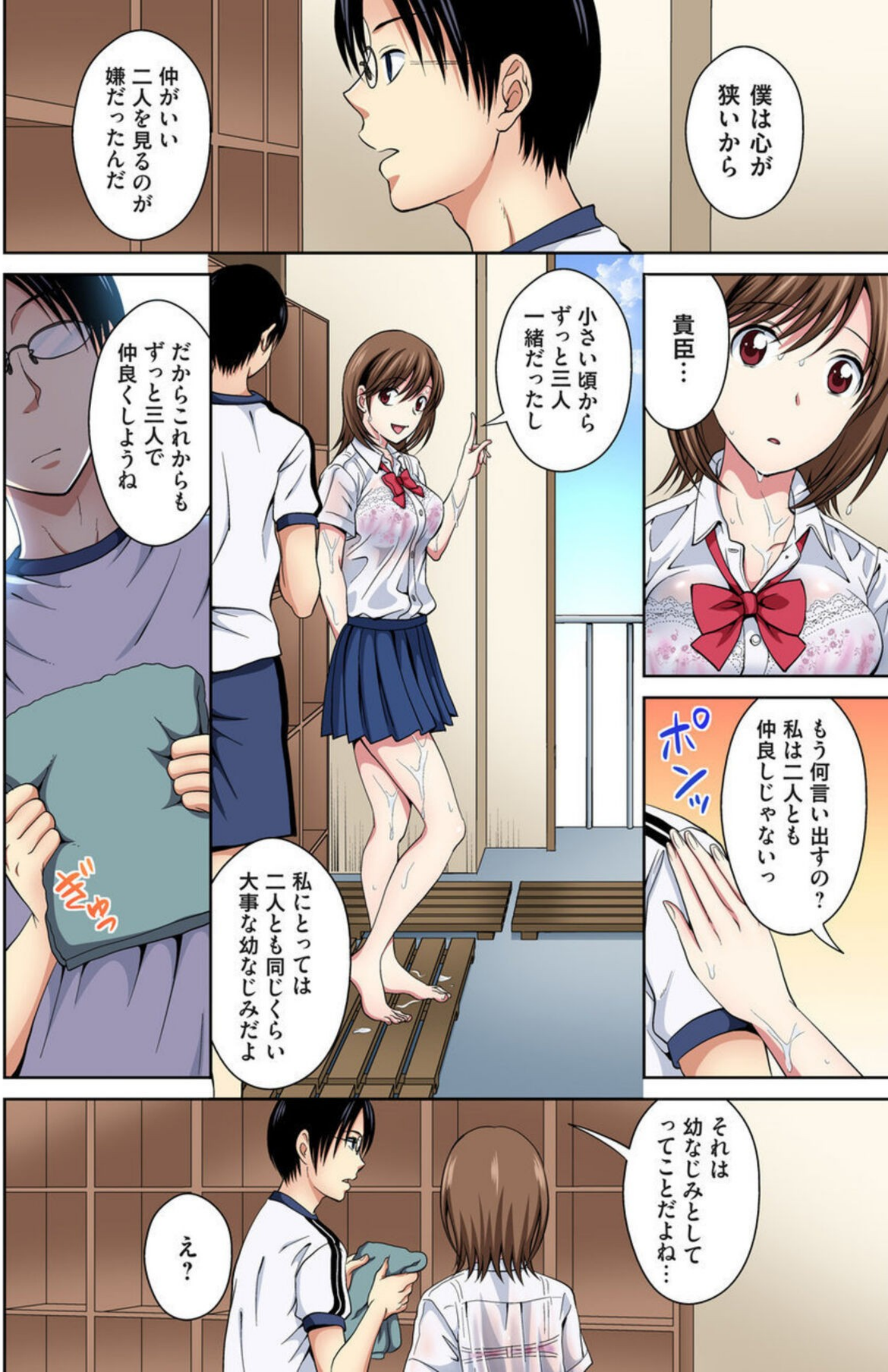
OSANANAJIMI TO BISHONURE H
幼なじみと
びしょ濡れエッチ
タカイシキネ
ただの幼なじみのままではいたくない!!

ヒロー貴臣ー
一緒に帰ろうー
僕らが
プールにいるって
よくわかったね
二人のクラスの子に
聞いたらここだって
私も手伝うから
早く終わらせよう
でも掃除当番って
今日じゃない
よね？
あぁそれはね
弘明がさ…
おい真帆っ 制服で
掃除して濡れても
知らねーぞっ
ファァァァ
きゃあっ

もうヒロ
ひどいよ～～～
ビショビショ
じゃない～～～っ
ぐっしょり
それくらい
よけろよ
相変わらず
トロくせぇな
ムッ
じゃあヒロは
よけられるのね？
ぐぐぐっ
あっ
当然だろ？
真帆とは違うのだよ
真帆とは
ぶしゃあ
さっ
も～～～～～っ

真帆っ
ぐいっ
弘明はサボって
イタズラした罰だ
ぐっ
とっとと一人で
掃除してろ
更衣室に
タオルあるから
早く拭いたほうが
いいよ
え？
じょぼぼぼ
おーい俺も
ビショ濡れだけど？
へっ
…貴臣っ
私もハンカチある
から大丈夫だよ…っ
ちょっと
濡れただけだし
すぐ乾くから
戻ろ？ね？


僕は心が狭いから
仲がいい二人を見るのが嫌だったんだ
貴臣…
小さい頃からずっと三人一緒だったし
だからこれからもずっと三人で仲良くしようね
もう何言い出すの？私は二人とも仲良しじゃないっ
ポンッ
ぎゅっ
私にとっては二人とも同じくらい大事な幼なじみだよ
それは幼なじみとしてってことだよね…
え？

パサッ
僕はただの
幼なじみのままで
いたくはないな
…貴臣？
冷静に考えて
ごらんよ真帆…
僕らももう
子どもじゃないし
いつまでも
男二人と女一人で
仲良くできる訳ないだろ
…どうして？
貴臣は仲良く
したくないの？
僕が仲良く
したいのは
真帆だけだよ
はっ
それとも三人で
仲良くなんていう程
真帆は鈍感なのか？
やぁ…っ

…いい加減
僕が真帆をどう思っているか気づいてくれてもいいだろう?
貴臣 急にやだっ離れて…っ
きゅっ
こうしたのが弘明でも同じこと言って拒否するのか?
かあぁっ
そんなの当たり前じゃない…っお願いだから放して…っ

僕はタオルで
拭いてるだけだよ
はっ
だって変なトコ
触って…あっ
おーい お前ら
いつになったら
掃除するんだ？
びくっ
すぐ行く…っ
ばっ
ヒロに呼ばれ
なかったら
あのまま私…
優しい
貴臣がまさか
あんなコト…
ドキン
ドキン
あぁもう頭の中
ぐちゃぐちゃ…

あっプールの鍵
戻し忘れて来た…
俺が返して
来てやるよ
元々俺のせいで
させられた掃除だし
お前らも
二人がいいだろ
バカなこと
言うなよ 弘明
二人で先
行っててよ
…追いかけなくて
よかったのかよ？
ぎゅっ
……

…え？
どうして？
そりゃ…
ピチャ
つーか
何だこの
ゲリラ豪雨…っ
ザバァァ
きゃあっ
またお互い
ずぶ濡れだな…
ホント夏の雨は
急に来るね～
はぁ
はぁ
はぁ
はぁっ
ザァァ
ザァァ

貴臣は大丈夫だったのかな…？
…やっぱり貴臣と付き合ってるのか？
え…？違うよ
じゃあさっきのは何なんだよ
きゃっ
ヤダ…あの時のヒロに見られて…

真帆…俺も揉んでいいよな？
ビクッ
…っ？
むにゅ
いや…っヒロやめて…っ
むにゅ
もみ
こんなの見たら止まれるもんか！
っ!?
ばっ
カバ
今日の真帆…無防備過ぎんだよ…
くんっ

やぁ…っ
今日は二人とも
おかしいよ…っ
ぷるっ
ぷるんっ
ちょ…っ
やだっ
やめてっ
ばたっ
じたっ
貴臣とは付き合って
るんじゃないよな？
つーか
他の男に触らせて
黙ってられるもんか…
やっ
やだぁ…っ
痛っ ヒロやめ…っ
乱暴はやめて…
ぎりっ
ぎりっ

わりぃ…どう触っていいかわからなくて…
こうか？
やっ そういう意味じゃ…
は…っ
もうヒロっ ホントにやめて…っ

こんなエロ乳首吸いつきたくなるに決まってるだろ…っ
もにゅっ
ぺろっ
ぺろっ
もみっ
んんっ そんなの知らないよぉ…っ
ビクッ
これが真帆のマ●コか…
ぱっ
あ…っ 汚いから絶対見ちゃだめ…っ
いやっ ムリヤリ拡げないで…
ぐいっ
ぐいっ
ぐいっ
ヒロっ そんな所触っちゃ…はっ
はっ
はっ
大丈夫…痛くしないから優しくするから…
ぐいっ
ぐいっ
ぐっ

ヒロ！
だからダメ…っ
いや…っ
抜いて！

もっとゆっくり…
このいじり方で
どう？真帆？

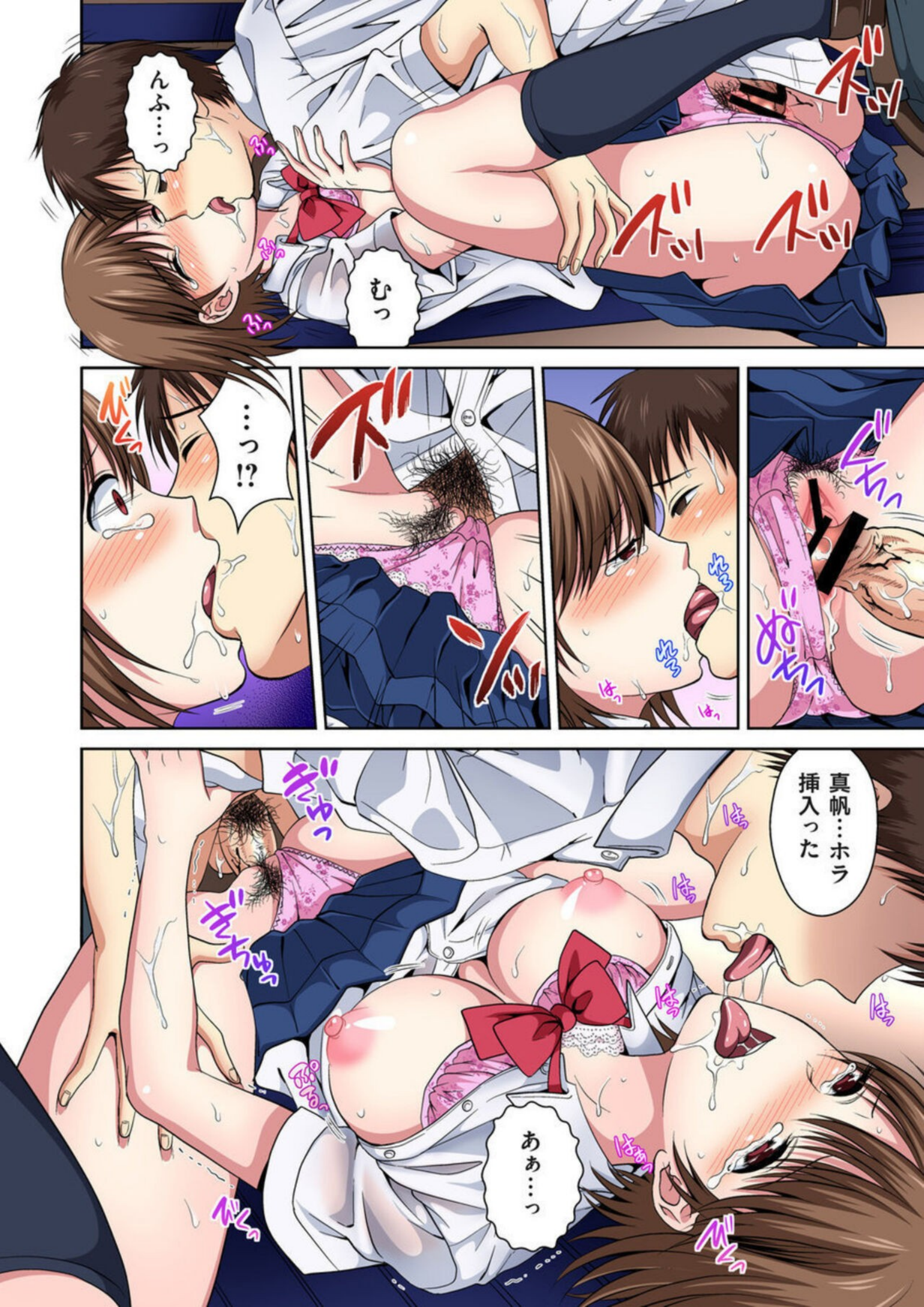
んく…っ

ん…そんな訳…
ヒロの…バカ…
やめてぇ…

あ…真帆のマ●コ
とろけてきた…
気持ちいいのか？

真帆…
俺もう限界…
今すぐハメさせて
ぶるんっ
カチャ
カチャ
真帆と繋がりたい…
もう挿れていい？
やだやだ…っ
いやっ
それだけは
絶対ダメ…っ
お願い…
あっ…いや！
ちゅっ
ちゅっ

拒否るってことは俺が嫌いなのか？
…嫌いじゃないけどダメっ
嫌いじゃないならいいだろ！
ん…っ
むぅ…っ
んむ…っヒロやめっ
息できない…っお願いだから離れて…んんっ


んふ…っ
むっ
ズッ
ズッ
ズッ
…っ!?
ズン
ぬろっ
ぬろっ
はっ
はっ
ぬろっ
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ
真帆…ホラ
挿入った
はっ
はっ
はっ
はっ
ぷるっ
あぁ…っ
はぁっ
ズンっ

やっ ヒロ…っ
だめ…抜いてっ
こういうコトは
大人になってから
するものでしょ？
大丈夫っ
妊娠したら責任
取るから…っ
そういう
問題じゃ…んっ
はぁ…っ
もうやめてっ
誰か…貴臣にも
見られちゃう…っ

今は俺とのセックスのことだけ考えろよ…っ
ほら抜けたっくっそ…全然上手くできないな…
だからもうこんなことやめにしてヒロ…っ
もう逃がすかよ…っ
くぅ…っ
ずっと真帆とヤリたくて我慢してたんだ…っ
やぁっ
こっちの気も知らないでどんどんエロイ体になりやがって…

やぁ…そんなの知らない…っ
勝手にいやらしい目で見ないでぇ…っ
そんな言い方勘弁してくれよ…
真帆…気持ち良くしてやるからもう嫌がるなよ…
ぷるんっ
ズッ
ズズッ
ズズッ
ぎゅうっ
ぬぷっ
はぁ
はぁ
レロッ
ぶるっ
ぐっ
ひゃあっ♡
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ぐぷっ
ぐぷっ

ク●いじったら気持ちいいのか？
やっ そこはだめっ…あっ♡
ん…っ♡
嫌がってないで素直になれよ
あんっ 痛いのに変になる…っ
やだ怖いっヒロやめて…っ
真帆のマ●コ…口では嫌がっても
ぬるぬる締まってきたぞ？
いやぁっ

ヤバイっ そろそろ射精で射精そう…っ
はっ
…っ!?
真帆も気持ち良く一緒にイケよ…っ
やぁっ いやいやっ出しちゃダメぇ…っ
あぁ…これで真帆のマ●コは俺のモノだ…
違う…こんな初めてヤダ…

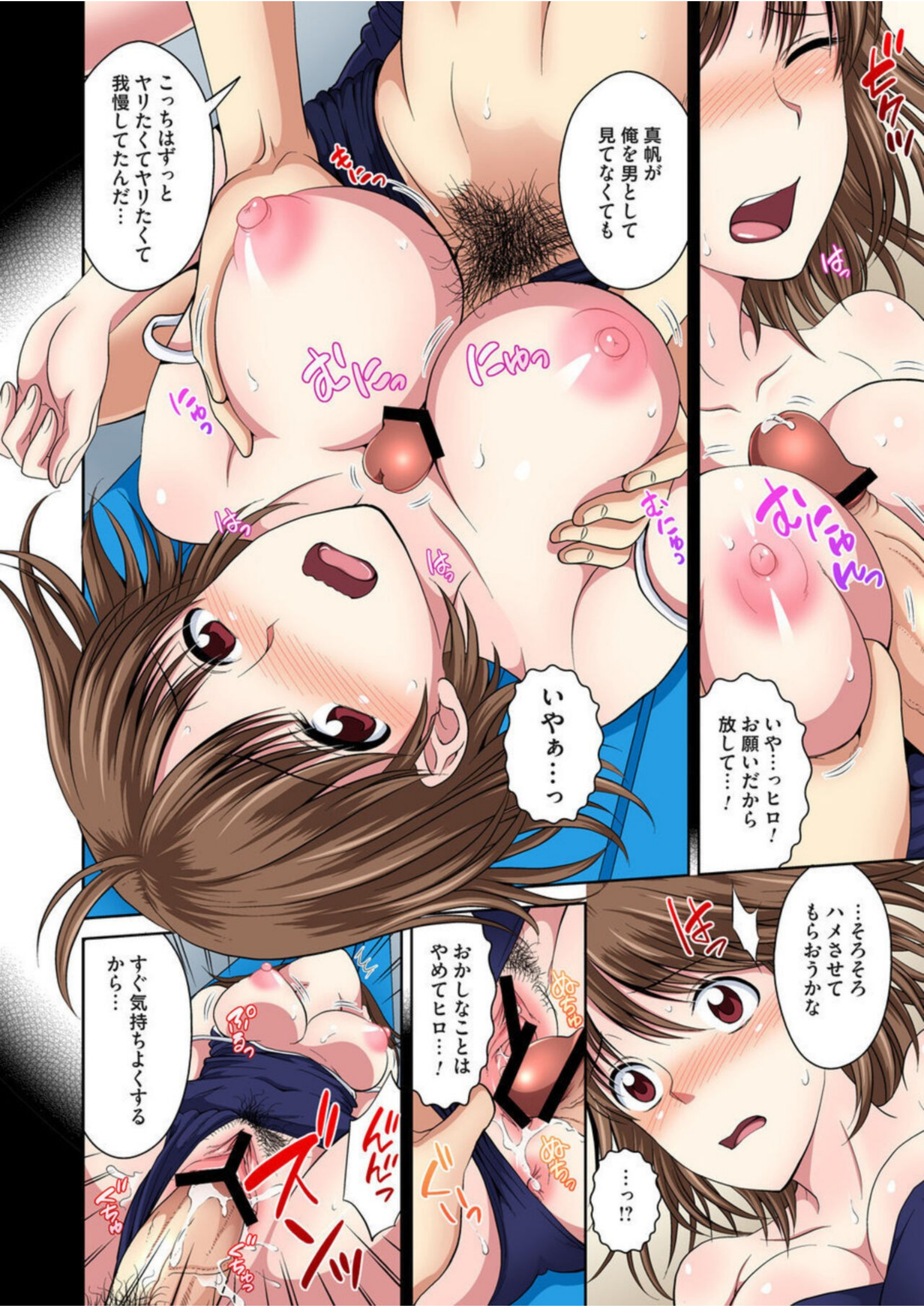
…貴臣まだ学校で雨宿りしてるのかな…？
つーかアイツのことなんて心配するなよ…
幼なじみだからっていつまでも三人で行動しなくてもいいだろ？
…二人ともどうしてそんなこと言うの…？
俺は真帆と一緒にいたいだけなんだよっ
や…っ 何で三人じゃダメなの？
だからこれ以上言わせるなよ…っ
ぎゅっ
ザアア

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。

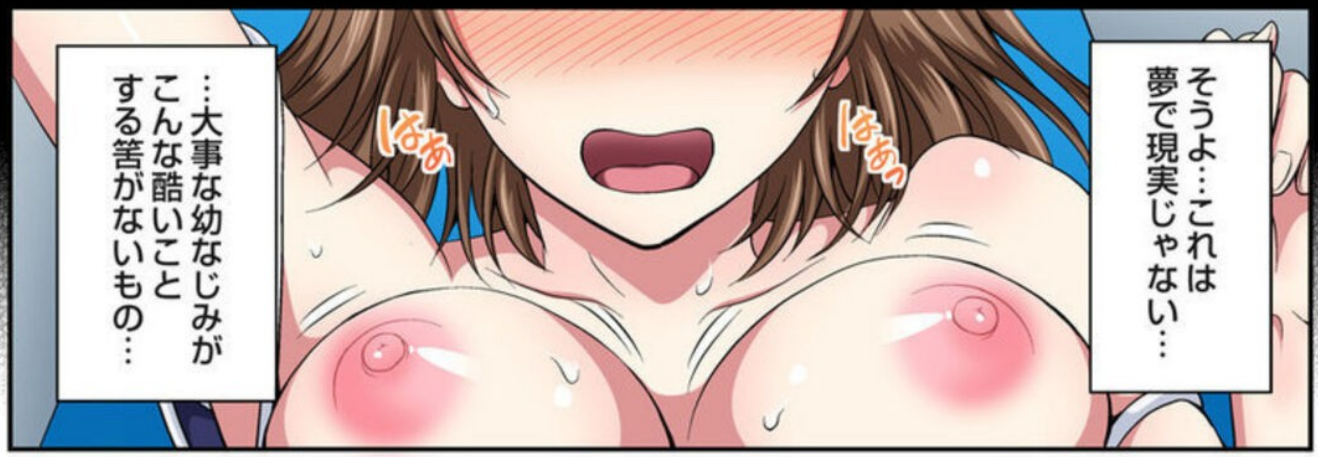
SUSPENSE EROS GAME & COMIC
GROUP H

OSANANAJIMI TO BISHONURE H
幼なじみと
びしょ濡れエッチ
ただの幼なじみのままではいたくない!!
タカイシキネ

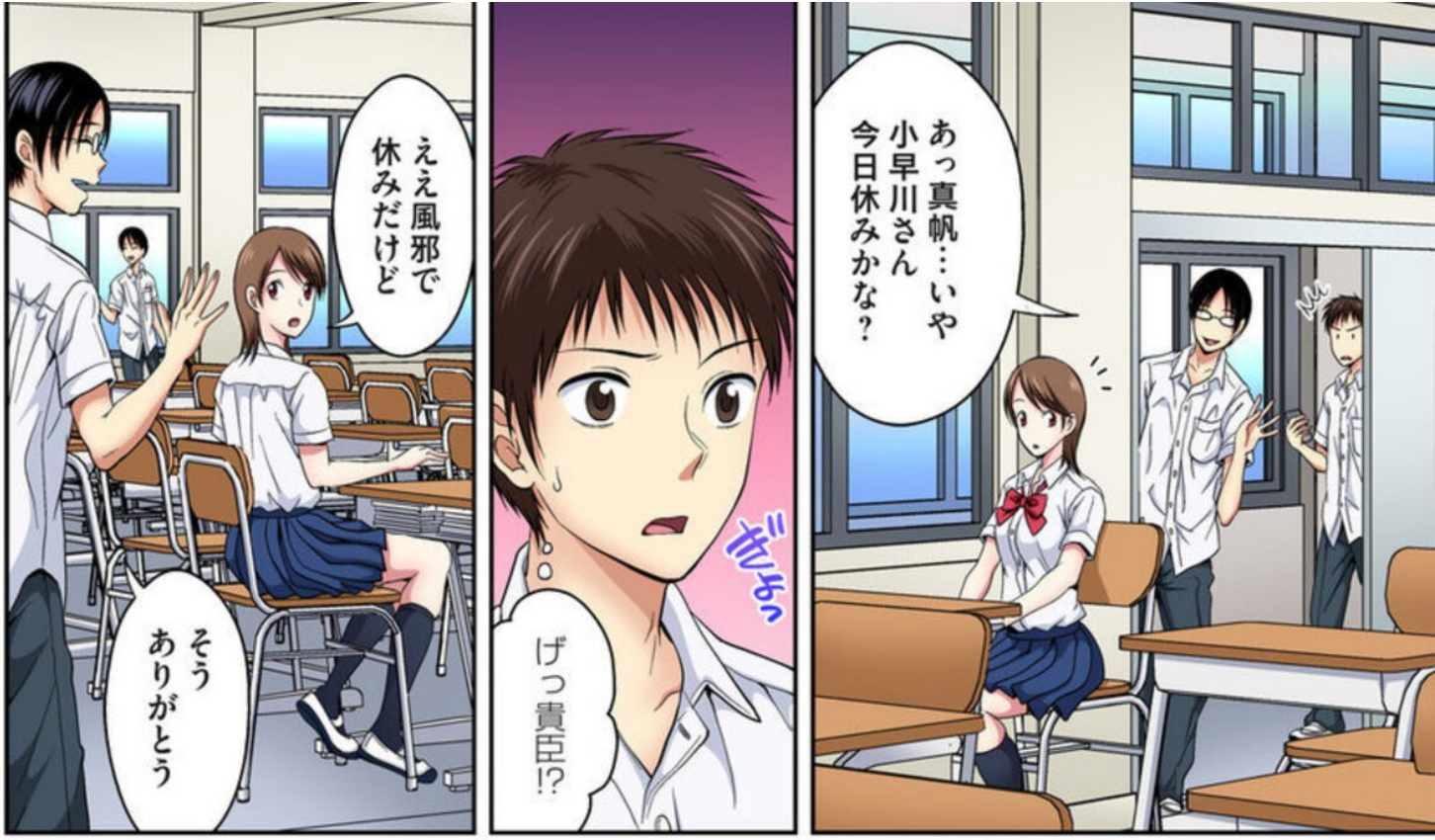
ヒロに犯された晩
私は嫌な夢を見た…
――真帆
…真帆！
やだヒロ
やめて…っ
…真帆は
俺のこと
どう
思ってるんだ？
ヒロは私にとって
大事な幼なじみよ
だから変な気は
起さないで…！
大事な幼なじみって
一体何だよ…
真帆は俺を男として
見れないって事か…？
いやぁ…っ

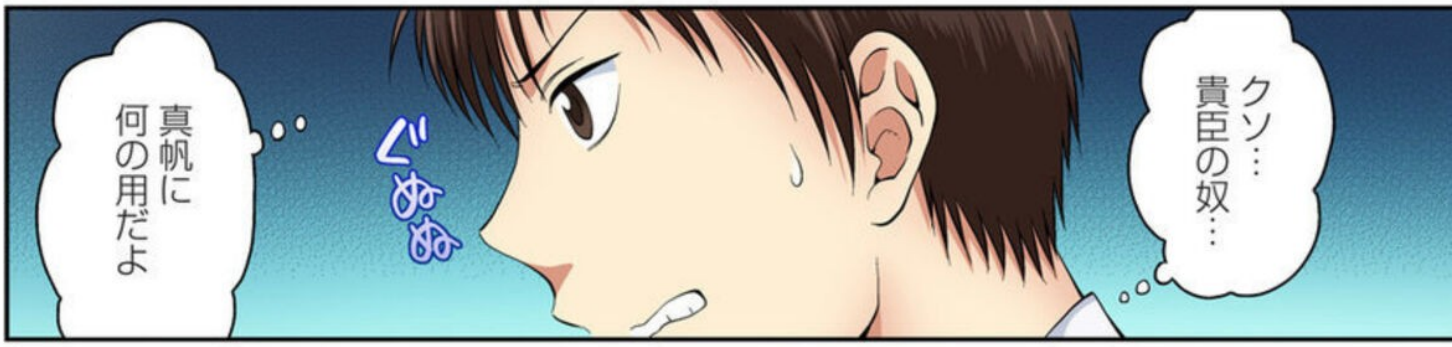

ビクッ!!
はぁ
いや…っヒロ！お願いだから放して…！
むにゅっ
…そろそろハメさせてもらおうかな
はぁ
…っ!?
おかしなことはやめてヒロ…！
ぬちゃ
ぬちゃ
ぐいっ
ぐんっ
ズンッ
ぐちゅ
ぐちゅ
すぐ気持ちよくするから…
いやぁ…っ
はぁ
はぁ
むにゅっ
むにゅっ
むにゅっ
こっちはずっとヤリたくてヤリたくて我慢してたんだ…
真帆が俺を男として見てなくても

いやぁっ
ヒロぉ…っ
あぁ…真帆と
セックスなんて
夢みたいだ…！
これから何回も
ヤってヤって
ヤリまくろうな…

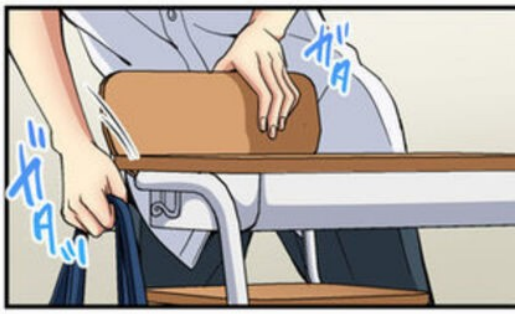

そうよ…これは
夢で現実じゃない…
…大事な幼なじみが
こんな酷いこと
する筈がないもの…

キーン
コーン
カーン
コーン
既読すら
つかねぇ…
真帆
おーい寝坊か？
もしかして昨日の
雨で風邪引いた？
寝てる？
スルー？
……
やっぱり俺のせいで
休んだのか真帆…？


あっ真帆…いや
小早川さん
今日休みかな？
ガタッ
げっ貴臣!?
ええ風邪で
休みだけど
そう
ありがとう


クソ…
貴臣の奴…
ぐぬぬ
真帆に
何の用だよ

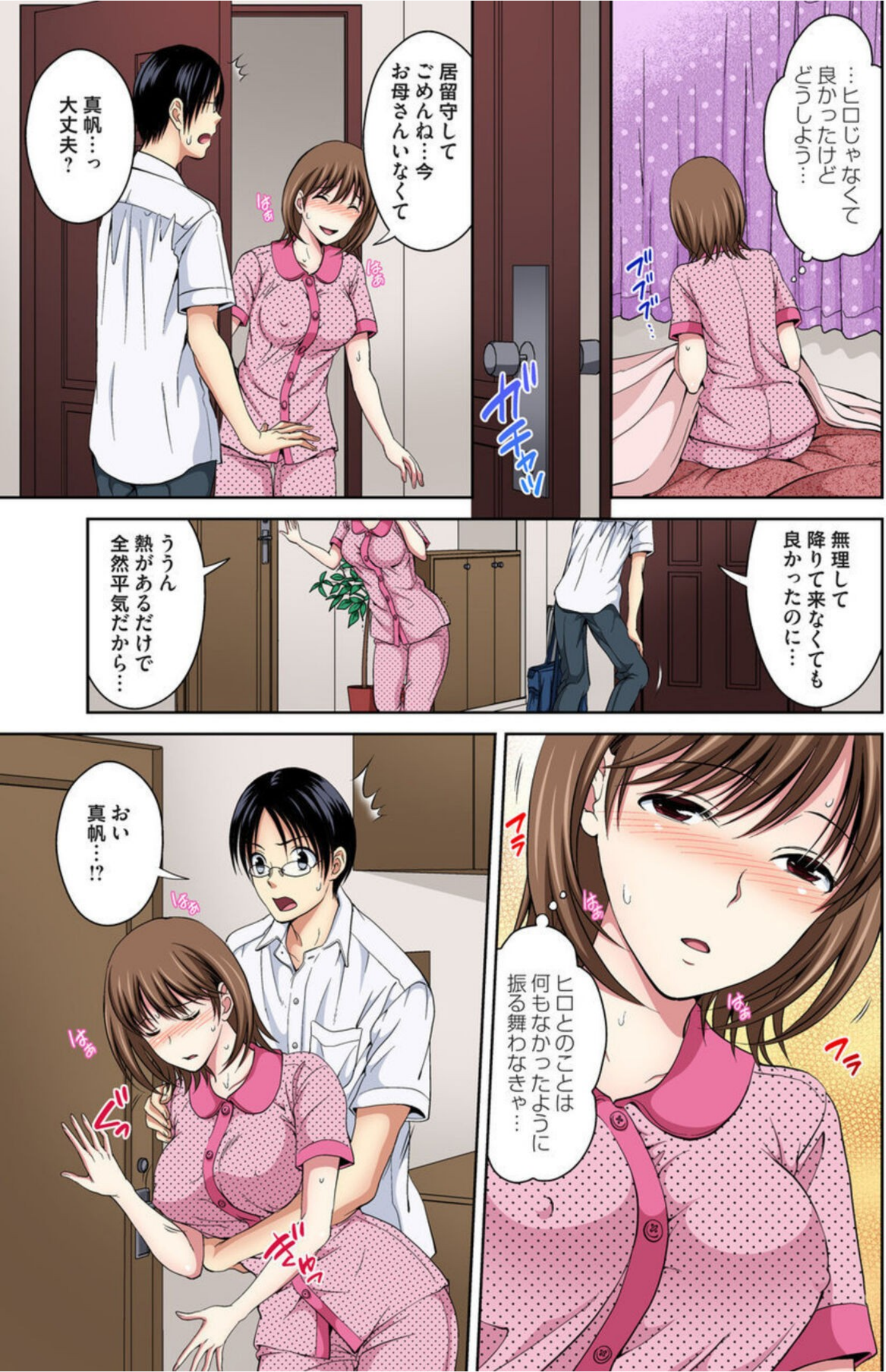
おい春日(かすが)
どこへ行く？
ぐいっ
ぐえっ


ガタ
ガタッ

こうなったら
サボってでも
真帆の見舞いに…
だだだだっ

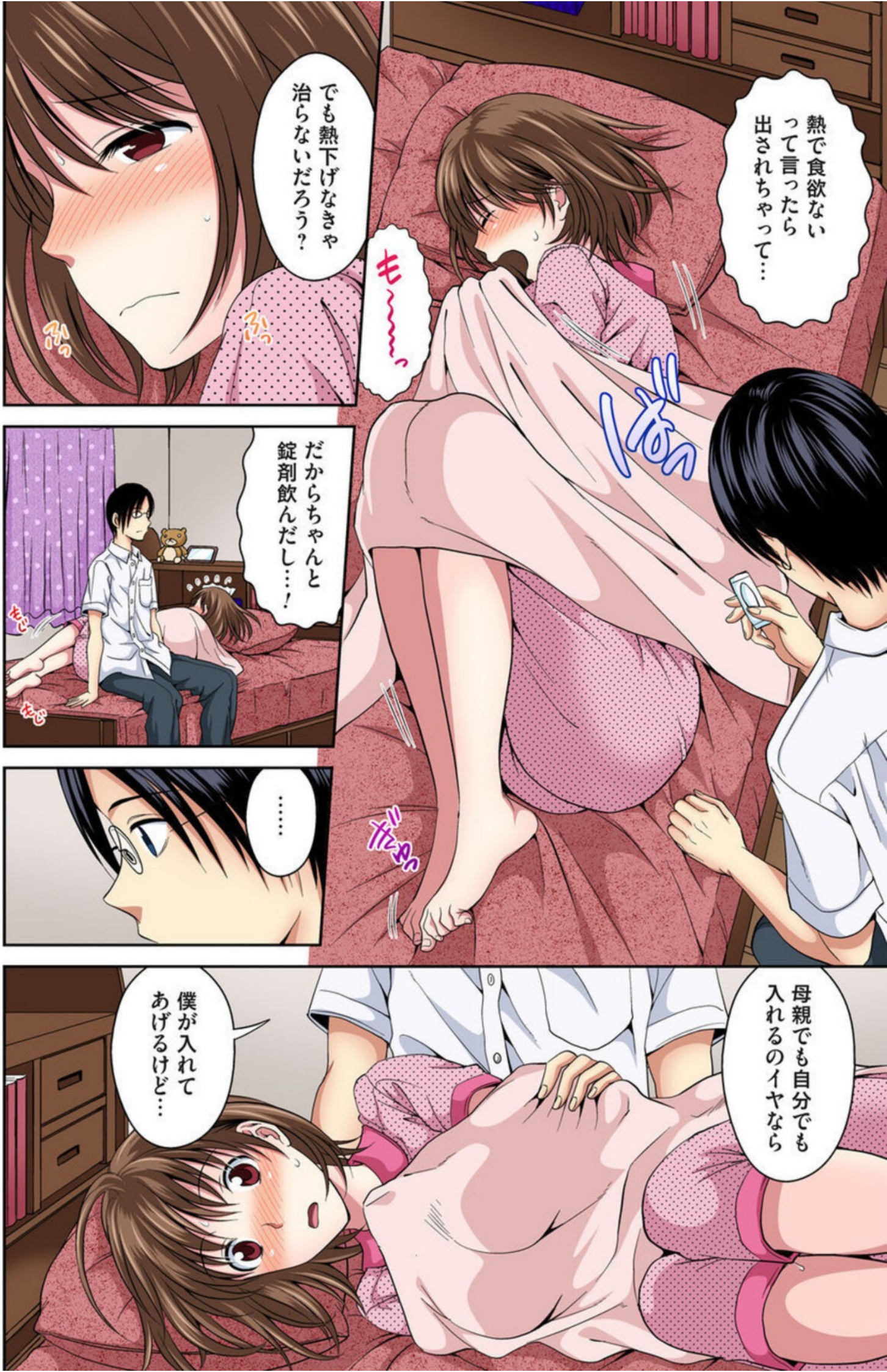
まさか授業をまたサボる気じゃないだろうな？
う…っ
…プール掃除も一人でやりましたしまさか僕がサボる訳…
ほう？
プール掃除も久我に手伝ってもらったようだし罰を与えんといかんようだな…
ゴゴゴゴ
ぎゅう
おごご
おーい久我昨日プールの鍵を返却しに来ただろう
はい 僕も掃除を手伝ったので…
たのむっ
嘘をついた罰として今日は体育倉庫の掃除をやってもらおうかな？
そんな…
ガクッ
カッ
弘明 今日予備校だから僕は手伝えないよ
ガーン

――放課後
……
ピンポーン
小早川
おばさん
いないのか
ブブブ
貴臣
今のインターホン
貴臣だよね？
ブブブ


…ヒロじゃなくて良かったけどどうしよう…
ブブブ…
ガチャッ
居留守してごめんね…今お母さんいなくて
はぁ
はぁ
真帆…っ大丈夫？
無理して降りて来なくても良かったのに…
ううん熱があるだけで全然平気だから…
ヒロとのことは何もなかったように振る舞わなきゃ…
フラ
はぁ
フラ
おい真帆…!?
はぁ
はぁ
ぎゅっ

すごい
熱じゃないか
でも本当に
大丈夫だから…
ムニュ
きゃ…!?
やだ…貴臣っ
重いから下ろして…っ
ばた
じた
いいから
じっとして

病院は行った？
はあ
はあ
……っ
ほらちゃんと寝てなきゃ
ギッ
はあ
はあっ
うん…ちゃんとお薬も飲んだよ
ぐぃ
全然効いてないじゃないか…
一体どんな解熱剤を…
やだ…別に見なくても…っ
ぐぃん
ぐぃん
用法
投薬日 平成○年
カあああああ
…もしかしてこれって座薬？


熱で食欲ない
って言ったら
出されちゃって…
も～～～っ
でも熱下げなきゃ
治らないだろう？
だからちゃんと
錠剤飲んだし…！
……
母親でも自分でも
入れるのイヤなら
僕が入れて
あげるけど…

ぱっ
え？
こじらせたら
期末テスト
受けれないしね
はぁ
や…ヤダ貴臣
何言ってるの？
はぁっ
……
大丈夫絶対
見ないから
下脱いでお尻
こっち向けてよ？
ヤダヤダ
無理無理！
絶対ムリ！
ばた
じた
じゃあ僕が無理矢理
脱がせてもいいの？
ばの

ホラ
真帆早くー
カタッ
や…っ
信じらんない！
僕はただ早く
風邪が治って
欲しいだけだよ
ちゃんと
眼鏡外すから
…本当に
見えてない？
カチャッ
勿論
言ってること全部
めちゃくちゃだって
わかってるのに…

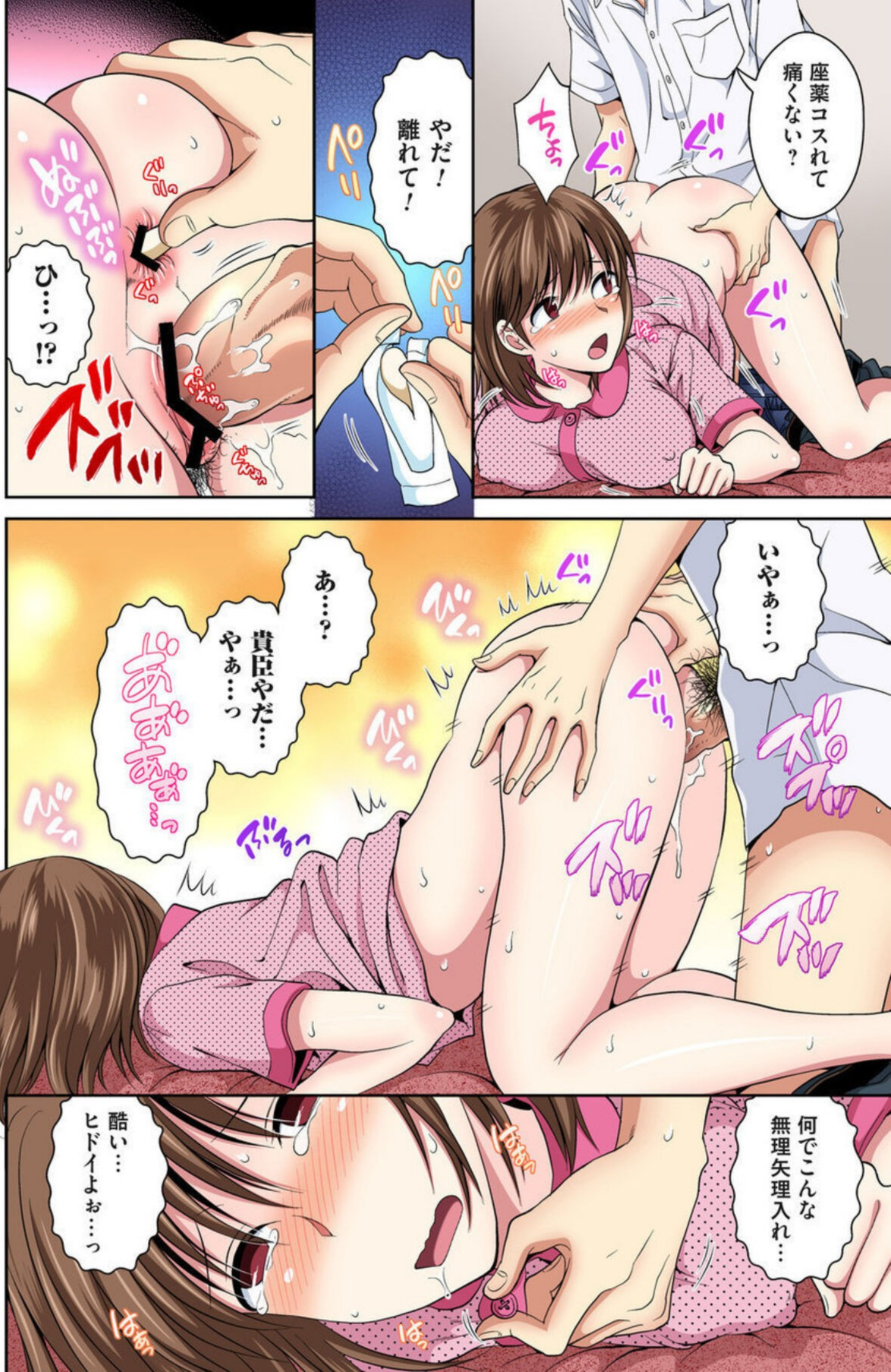
言う事聞かなきゃ貴臣もヒロみたく無理矢理…
ううん…貴臣ならきっと酷いことはしないはず…
真帆…全部脱いだ？
……
ああ…顔が熱い…どうしてこんなことに…
じゃあゆっくり入れるからね…
ぐっ
きゃあ…っ
ぱしっ

変なトコ触っちゃヤダ…っ
でも見えないから直接触らないと入れられないよ？
だからってお尻触るのはダメ！
…じゃあ真帆が自分で拡げてくれる？
あっちょっと！やだよ！貴臣の前で無理だよ！
やあっ
…っ!!?

脱がした方が拡げやすいだろ？
ぎっ
え…？
はっ
こうやってしっかり拡げて指で支えるんだ
ぱっ
ちょ…やだ貴臣…!?
僕がやってる通りに真帆もお尻拡げてよ？
やっ
もうやだぁ！
そっちも触らないで…！
びくっ
ぐりぐり
ぎゅうっ
むにっ
ぴくっ
ぐりっ
ぎゅうっ
むにっ
ぴくっ
ぐりっ
ぎゅうっ
ぐりっ
ぎゅうっ
ぐりっ
ぎゅう

こっちも触っちゃだめなら初めに言ってくれないと…
ビーッ
カチャ
カチャッ
…？
僕はそんなに信用ないんだ…
ばっ
もうっどこも見るのも触るのも絶対いやなの！
ビーッ
貴臣…？何してるの？
ヘレン
…ん？座薬入れる準備だよ
やっ
ぐっ
ぐっ
ぎっ

だから座薬はナシ！
もうやめにしよ？
沢山恥ずかしい
思いしたのに
途中でやめるんだ…
ドキッ
だから最初に
イヤって言ったよっ
…でも座薬の袋
開けちゃったから
やっぱり入れない？
パンッ
ぬにっ
ん…っ
アナちゅっ
え…貴臣？
何？何か熱いの…
ぬぢっ
くちゅっ
やだ…何コレ？
変なモノ
こすりつけないで…っ
ぶるっ
はっ
はっ
ぬにっ


座薬コスれて痛くない？
ちょっ
やだ！離れて！
ひ…っ!?
いやぁ…っ
あ…？
貴臣やだ…やぁ…っ
おおおおっ
何でこんな無理矢理入れ…
酷い…ヒドイよぉ…っ

これくらい
強引にしなきゃ
わかってくれないだろ…
僕がどれだけ
真帆を好きか…
んぅ…っ
やだ…
そんなこと
言わないで…

真帆
好きだよ
んんっ
ずぷっ
ずぷっ
ぐぷっ
じゅぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐ

やだ…風邪移っちゃう…
いやいや…っお願い離れてぇ！
移していいからもっとキスしたい

そんなこと言っても
真帆のアソコが
放してくれないんだ
はぁっ
あっ
ぎゅぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐ

貴臣…
ヒドイよ…
いやぁっ
真帆の膣内に
全部射精するよ…っ
貴臣も…
真帆ごめん…
我慢できなくて…
ずっと
こんなことが
したかったの？

…真帆
この後弘明が来たら
今日のことは絶対
秘密にするんだ…
……

僕と真帆が
セックスした
なんて知ったら
アイツは
僕と違って
怒り狂うよ
…っ!?

…まさか貴臣
昨日バス停の…
ギッ

私がヒロに
ひどい事されるの
黙って見てたの…!?
真帆
落ち着いて…!
ぐっ

ピンポーン
ビクッ
…っ!?